

2024 年度 事業報告

認定 NPO 法人 WE21 ジャパン・ほどがや

2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日

I 資源のリユース・リサイクルを推進する事業（リユース・リサイクル事業）

1. WE ショップ星川店、天王町店を拠点に資源の循環活動をすすめ、寄付品の有効活用を図りました。
年間売上目標額を星川店600万円、天王町店610 万円としましたが、
売上実績は、星川店 5,832,645 円(目標達成率 97.2%) 天王町店 6,232,591 円(102.1%)、
2 店舗合計 12,065,236 円で、目標額の 99.7%でした。(前年比 105.5%)

星川店

売上 5,832,645 円(税込) (月平均 486,054 円 ・1 日平均 24,542 円) 前年比 103%

営業日数:238日 (月平均 20 日) 前年比 102 %

客数:6387 人 (月平均 532 人・1 日平均 27 人) 前年比 103 %

寄付者数:1283 人(新規 19 月平均107人) 前年比 100 %

ショップボランティア延べ人数:824 人 (月平均69人) 前年比 105 %

- 1) スタッフ・ボランティア体制: スタッフ3人体制でショップ運営を行いました。4月と11月に新たなボランティアが2名加わり、ボランティア総数も増え安定した運営に寄与しています。
- 2) 引き続きボランティアさんと共に感染防止対策に協力して貰いました。カテゴリ別の販売や均一販売、スポットの半額販売を取り入れ、お客様に楽しんでお買い物をしてもらえる企画を多くしました。また全品半額セールの夏、冬、初売りは 2 店舗で同時開催をする事で WE21ジャパンほどがやのアピールへ繋げることができました。毎月のスタッフミーティングでは月末対策を検討し、即行動に移しながら運営をしました。
- 3) 地域の活動団体との交流と共に情報発信場所の役割として、前年度に引き続き、廃油の回収、資源を生かす取り組みとしての羽毛の回収(羽毛布団 7 枚、ダウンコート 30 枚)を実施し、電話での問い合わせも増えてきました。更に地域活性化につながる地場野菜販売も6年目になります。これらはお客様に浸透し、非常に好評を得ています。
- 4) 着物販売: 「着物、帯、和装小物」の着物コーナー常設化も 3 年目を迎え、月 1 回着物アドバイザーによるマネキンへのモデル着付けと来店者への適切なアドバイスが好評です。一方で着物の来店者が減少し、売上を伸ばす為に 8 月の夏セールで夏着物、反物、小物、七五三着物も半額販売をしましたが着物の新たな顧客を掴むことが難しい状態が続いています。一方、ネットの活用で少しずつですが遠方からのお客様や男性客、外国人の来店など変化の兆しも現れて、より効果的な販売方法を模索し続けました。
- 5) リメイク品販売: 昨年に引き続き WE21 主催のイベント「着物・リメイクフェア」に参加してリメイク作品をアピールしました。和布から作られた一点物のチュニックやパンツ、エプロンなどの衣類、パッチワークの手提げや布ぞうり、季節の手作り作品は変わらず高く支持されています。今年度も課題だった新たな「作り手」を増やすことが叶わず、現在の「作り手」の創作意欲を応援しながら取り組みました。

6) 就労支援受け入れ: ワーカーズ・コレクティブ協会から4名を受け入れました。

売上実績(目標)

4 月 (21)	スカーフ&ストールフェア 1-12 日 アクセサリ均一 15-26 日 和装バッグ 330 円 24-5/2 バッグ半額 24-5/2	・2 週間ごとのフェア開催中は春らしい季節感を出すためにいろいろ工夫した。 ・着物販売コーナーを片付けて着物小物のみを販売する。	421,978 円 (45 万円) 客数 542 名 寄付 116 名
5 月 (21)	ガラス製品半額 7-17 日 パンツスカート半額 21-31 日 アクセサリ半額 7-14 日 雑貨・子ども服・ハンカチ・生地など半額 22-31 日	・アクセサリコーナーを見やすくして好評。 ・お客様から店頭にて若向きファッションをコーディネートしてアピールするアイデアをいただき好評	428,999 円 (45 万円) 客数 525 名 寄付 142 名
6 月 (20)	手芸品半額 3-14 日 文具半額販売 17-28 日	・浴衣と単衣の着物・夏帯を展示 ・第 3 回星川まつりに参加 6 月 8 日(土)売上:9,105 円 ・ボランティアミーティング開催 1 日(土)	415,948 円 (50 万円) 客数 482 名 寄付 90 名
7 月 (22)	夏の感謝セール 2-5 日 感謝券利用月間 7/8-8/31 核廃絶・店頭募金 7/16—8/31	・感謝セール 売上 235,090 円 感謝券配布 69 枚	501,600 円 (50 万円) 客数 529 名 寄付 82 名
8 月 (17)	核廃絶キャンペーン 6 日(火) 陶器ガラス食器 3 個 550 円 ~30 日 夏季休業 10-18 日	・核廃絶キャンペーン 8 月 6 日売上げ全額寄付 14,426 円 募金 21,244 円	341,227 円 (40 万円) 客数 364 名 寄付 61 名
9 月 (19)	雑貨半額 2-6 日 袷着物 550 円均一 17-30 日 生地半額 9-13 日 衣類半額 19-30 日	・ラポール三ツ沢での販売 4 日(土) 売上 23,455 円	386,241 円 (45 万円) 客数 476 名 寄付 88 名
10 月 (22)	手芸品半額 1-25 日 茶道具・漆器フェア 7-18 日 コートフォーマルフェア 15-26 日 貧困なくそうキャンペーン	・貧困なくそうキャンペーン 17 日売上寄付 26,421 円 店頭募金 6,707 円	550,308 円 (55 万円) 客数 595 名 寄付 130 名
11 月 (20)	秋・冬感謝セール 12-15 日 クリスマス・正月用スタンプ 5 個 220 円 セール後 パンツ・スカート 330 円均一	・秋・冬感謝セール売上:310,547 円	604,214 円 (55 万円) 客数 658 名 寄付 145 名

12 月 (18)	マフラー手袋など 2-6 日 生地詰め放題 10-20 日 歳末日替わりセール ウール・衣類半額 23 日 食器半額 24 日 ウール・衣類・食器半額 25 日 冬季休業 26 日-1/5	・初めての「日替わりセール」を実施 着物も売れる ・ラポール三ツ沢での出張販売(4 日) 売上 36,725 円 ・チョコ募金開始(50 個)	505,862 円 (50 万円) 客数 543 名 寄付 141 名
1 月 (19)	初売り 6 日(月)7 日(火) アクセサリ 3 点 500 円 8-10 日 手芸品 5 点 300 円 4-17 日 文具 5 点 300 円 20-24 日 生地 27-31 日 5 点 300 円 ウール着物詰め放題 21-31 日 1 袋 1000 円 ワンテーパー販売 27-31 日	・初売り売上:153,567 円 ・JIM-NET「COFFEE for PEACE」募金 ・ワンテーパー販売など販売に工夫する。	544,356 円 (55 万円) 客数 584 名 寄付 107 名
2 月 (18)	着物半額販売 一部帯の均 一販売 3-14 日 茶器フェア 10 日～新茶器 は正価販売 花器コーナー 25 日～ お楽しみ企画 27,28 日	WE21 ジャパン着物リメイクフェアに出店 売上 68,040 円	530,475 円 (55 万円) 客数 510 名 寄付 91 名
3 月 (20)	創業祭 10-14 日 3.11を忘れないキャンペーン	・創業祭 売上:308,279 円 ・3.11を忘れない 3 月 11 日売上寄付:51,262 円 3 月店頭募金:22,920 円	601,437 円 (55 万円) 客数 611 人 寄付 93 人

衣類 2,155,879 円 (91.7%) 雑貨 2,450,261 円 (98%) リメイク 564,401 円(112.8%)
着物 662,104 円(101.8%)

天王町店

売上 6,232,591 円(税込) (月平均 51,938 円 ・1 日平均 26,297 円) 前年比 105%

営業日数:237日(月平均20日) 前年比 99.5 %

顧客数:7,413人(月平均618人・1 日平均32人) 前年比94.3 %

寄付者数:1,230人(月平均103人・新規 34 人) 前年比101 %

ショップボランティア延べ人数:707 人 (月平均 59 人) 前年比 106%

1) スタッフ 4 人体制でショップ運営を行いました。毎月スタッフミーティングを開催し、現在の状況を確認して、

その月の目標に達成するように話し合って運営しました。

今年度はショップの契約更新の年のため 5 月には更新料の支払いができず、非収益事業から借り入れしました。前期は売り上げがあまり伸びず月末の家賃の支払いに苦労しました。ボランティアが不足しているのが課題です。

2)毎週土曜日は「こどもDay」と称して子供服、おもちゃ、文房具等を半額にしています。好評で、新しい方々から子供用品の寄付が増えています。

3) フェアトレードフェアを年2回(5 月 16日(木)～25 日(土) 12 月2(月)～14日(土))実施しました。

5月には地球の木の品物を委託販売しました。いつもと違う雰囲気を出せたと思います。フェアトレード品常設は、支援を身近に話すきっかけとなりますが、売上が少ないと仕入れができず、フェアトレード品が少なくなった月がありました。

4)3・11を忘れない

東北支援品仕入のムラカミの海産物の取引も7年となり、毎回楽しみ買いに来てくださる方も多く定着しています。珈琲工場&百屋のカレーは岩手県宮古市の障がい者施設で製造されています。ムラカミ、百屋から 9 月、3月に仕入れ販売しました。

5)7月の創業祭、11月の秋・冬感謝セール、1月の初売り、3月の春まちワクワクセール等のイベントを企画し、間にプチセールを開催しましたが、顧客数、寄付品等の減少が課題として残りました。7 月の創業祭では8月に使える感謝券を500円以上お買い上げのお客さんにプレゼントしました。(120枚配布 113枚の回収)

6)グリーンダウンプロジェクトで羽毛布団 22 枚、ダウンコート等 7 枚を回収しました。

ネットで検索した方が多く若年層のお客様の確保につながると感じています。

7)「NPO 法人きてんトラック」に綿の T シャツフリース、「特別養護老人ホームラポール三ツ沢」に新聞、タオル、シーツ等を送り、物品寄付に協力しました。

8)就労支援受け入れ:ワーカーズ・コレクティブ協会から 1 名、2期(2024年6月～2024 年11月)の受け入れを行いました。ボランティアさんとも仲良くなり就職できたことをうれしく思っています。12月から3月まで1名で、2名の方を受け入れました。

売上実績(目標)

4 月 (21)	1000 円お買い上げで半額 1-9 日 パンツ・スカート半額 15-20 日 子どもデー(土曜日子ども用 品半額)	・1000 円以上半額はお客様に喜ばれる。 ・土曜日の子どもデーを始める	434,003 円 (60 万円) 客数 568 名 寄付 122 名
5 月 (20)	フェアトレードフェア 16-31 日 衣類半額 22-30 日	・フェアトレードフェアでは、「地球の木」の商品 の委託販売もした。 売上 58,685 円(目標 5 万円)	572,996 円 (50 万円) 客数 585 名 寄付 102 名
6 月	アクセサリフェア 10-15 日	・アジアンフェアはお客様に楽しんでいただけ	48,1316 円

(21)	ガラス製品半額 3-8 日 アジアフェア 24-29 日	た。 ・ボランティアミーティング開催 26 日	(45 万円) 客数 581 名 寄付 114 名
7 月 (21)	夏の感謝セール 6-8 日 感謝券利用月間 7/8-8/31 ・時計販売 ・ガラス製品半額 23-30 日 ・核廃絶店頭募金 7/16-8/31	・感謝セール 実績 268,069 円 感謝券配布枚数 105 枚	518,348 円 (55 万円) 客数 625 名 寄付 93 名
8 月 (18)	核廃絶キャンペーン 6 日 夏季休業 11-18 日 夏物衣類・手芸品半額 19-30 日	・核廃絶キャンペーン 8 月 6 日売上げ寄付 15,345 円 募金 18,985 円	365,489 円 (40 万円) 客数 413 名 寄付 63 名
9 月 (19)	東北支援品販売(目標 7 万円) 食器・台所用品半額 2-10 日 雑貨半額 17-28 日 衣類半額 28-10/1	・東北支援品販売 53,598 円 ・ラポール三ツ沢での販売 東北支援品 14,380 円	442,349 円 (45 万円) 客数 612 名 寄付 93 名
10 月 (21)	貧困なくそうキャンペーン	・貧困なくそうキャンペーン 17 日売上寄付 22,412 円 店頭募金 6,460 円	420,351 円 (50 万円) 客数 531 名 寄付 92 名
11 月 (20)	秋・冬感謝セール 12-16 日	・秋・冬感謝セール 売上げ:371,332 円	723,270 円 (60 万円) 客数 814 名 寄付 115 名
12 月 (19)	フェアトレード・フェア 2-14 日	・フェアトレード・フェア 売上 58,600 円 ・ラポール三ツ沢での出張販売(4 日) 売上 25,400 円 ・チョコ募金開始(50 個)	613,014 円 (50 万円) 客数 578 名 寄付 116 名
1 月 (18)	初売り 6 日(月)、7 日(火) 毛糸半額 手芸用品詰め放題:9-18 日 (660 円)	・初売り売上 170,289 円 ・JIM-NET「COFFEE for PEACE」募金	535,530 円 (50 万円) 客数 740 名 寄付 98 名

	30ℓの袋詰め放題(準備した箱の物一袋 500 円) 雑貨半額 20-25 日 衣類半額:27-31 日		
2 月 (18)	食器台所用品半額 春待ちわくわくセール 20、 21, 22 日	春待ちわくわくセール 20、21, 22 日 売上:286,535 円(目標 25 万円)	598,253 円 (55 万円) 客数 743 名 寄付 96 名
3 月 (21)	3. 11 を忘れないキャンペーン	・3. 11 を忘れない 3 月 11 日売上寄付:10,610 円 3 月店頭募金:25,208 円	527,672 円 (60 万円) 客数 605 人 寄付

衣類 2,700,711 円(94.7%) 雑貨 2,929,239 円(110.5%) WEトレード 602,641 円(100.4%)

- WE ショップが幅広い世代に向けた魅力的なチャリティショップであるために、チラシや紙媒体や A 看板を活用して、多様な情報発信をすすめ、認知が広がるように努めました。
ショップの情報をホームページ、Facebook、Instagram でタイムリーに発信しました。
- 寄付品を有効に活用するため、リユース・リサイクル部会で情報収集のうえリメイク品の充実を目指しました。
新たな作り手の増員、リメイク品の企画開発はできませんでした。
リメイク売上 564,401 円(目標 50 万円 112.8%)
・WE21 ジャパン着物・リメイクフェアに参加しました(2/14、15 県民センターホール)
他地域ショップとともに、リメイク品のアピール販売をしました。作品の情報交換や地域同士の交流もできて、有意義な参加となりました(ボランティア参加 延べ 11 名) 売上 68,040 円
・ホシテンフェア 2025 展示とアピールに参加しました(3/8-29 アワーズミーティングスペース)
ほどがやの活動を展示パネルとリメイク品展示、チラシでアピールしました。
3 月 8 日(土)はボタンプローチのワークショップを行い、おおぜいの親子連れや小学生が楽しく作品づくりに参加しました。(参加者 27 名)
・広報チームと連携し、Instagram への作品の投稿で地域・次世代に向けてアピールしました。
メンバー自ら、情報をさらに受発信できるようになるのが課題です。
- リメイク WE 講座を開催しました。
1 月 18 日(土)10:00-11:30 「布でつくるかわいいチューリップ ループエンド」
小さな端切れで作るかわいいチューリップの作品は、その後、着物・リメイクフェア、星川店でも販売しました。 会場:星川店 参加者 14 名(一般 5 名 チーム 9 名)
- ショップで多彩な企画を立て、お客様が楽しくお買い物ができるように努めました。
星川店の日替わりセール、カテゴリー別や均一販売、天王町店のこども Day(毎週土曜日)、「昭和レトロ」や「アジアンフェア」の企画などが好評でした。
- 店内、バックヤードの整理整頓や寄付品の適切な保管、ディスプレイの工夫に努めました。

7. 笑顔の挨拶、清潔な身だしなみなど、接客対応の基本を忘れず、心地よいショップづくりに励みました。
8. ショップで販売できなかった衣類は WE21 グループ提携先のナカノ(株)でさらにリユース・リサイクルされました。ガラス・陶磁器は、飯室商店、木村管工(株)へ搬出し、再資源化されました。
9. 廃食油、羽毛製品、ケータイ電話の回収をすすめ、リサイクルによる CO2削減をすすめました。
 廃食油回収量 星川店 215kg(CO2 削減量 559kg) 天王町店 215kg (CO2 削減量 559kg)
 (前年回収量 星川店 160kg 天王町店 225kg)
 羽毛製品回収 布団 29 枚 コート類 37 枚(前年 布団 31 枚 コート類 50 枚)
 めぐりケータイ回収 小型電子機器 9 (パソコン 3 タブレット 1 リモコン 1 電話機 1 電子辞書 1
 DVD プレーヤー1 AC アダプター1) (前年 31 点)9.
10. 環境保全に取り組むショップのスタンスとして、値札には繰り返し使用できる安全ピンや環境に優しい素材(麻ひもや紙ひも)を使用することにしました(8 月～)。
11. 緊急時や災害時に備え、定期的にショップの危機管理対策の確認や整備に努めました。

【日時】 通年

【場所】 WE ショップほどがや星川店・天王町店・その他保土ヶ谷区内

【従事者人数】理事 10 人・ショップスタッフ7人 リユースリサイクル部会6人(理事 4 人、スタッフ 2 人)
 リメイクチーム 9 人

【受益対象者】 主に保土ヶ谷区内の市民

【支出額】 11,173,756 円

II アジア等における市民、とりわけ女性の生活向上と自立のための活動を支援する事業 (民際協力事業)

1. 世界で起きている問題にアンテナを張り、支援・平和チームを中心に情報収集に努めて、必要なプロジェクトを理事会で決定し、ショップの収益、募金、寄付金を活用して支援を行いました。
2. 国内外の草の根の人々の暮らしの向上、環境の改善、人権尊重、平和の構築などの事業に、資金および情報提供などで協力しました。
3. 以下のキャンペーンを実施しました。
 - 1) 平和への歩みをすすめるために、8 月に「核廃絶キャンペーン」を実施しました。
 「核兵器のない世界」に向けて取り組む団体の活動内容を市民に伝え、原爆記念日の売り上げ全額寄付と店頭募金を行い、平和な社会への関心を高めました。
 原爆記念日(8 月 6 日)の売上全額(29,771 円)及び店頭募金(40,229 円)の計 70,000 円を下記の 2 団体に寄付しました。キャンペーン中は支援先団体の活動写真を店内に掲示しました。
 一般社団法人 核兵器廃絶日本キャンペーン 35,000 円
 一般社団法人 かたわら 35,000 円
 - 2) 貧困問題への関心を高めるために、10 月に「貧困なくそうキャンペーン」を実施しました。
 貧困問題に取り組む団体の活動内容を伝え、貧困撲滅デー(10 月 17 日)の売上全額(48,833 円)及び店頭募金(13,167 円)の計 62,000 円を下記の団体に寄付しました。

キャンペーン中は、支援先団体の活動写真を店内に掲示し、貧困問題の現状をアピールしました。

認定 NPO 法人 自立生活サポートセンターもやい 62,000 円

また、10 月の 1 ヶ月間、フードドライブを行い、保土ケ谷区社会福祉協議会に寄付しました(ダンボール 3 個分)。お米の寄付が大変に喜ばれました。

3) 福島原発事故を忘れないように、3 月に「3.11を忘れないキャンペーン」を実施しました。

東日本大震災から 14 年が経ち、今も続く被災者の苦しみ忘れられつつあります。特に原発事故後の課題は解決されないままであり、引き続きキャンペーンを行い、3 月 11 日の売上全額(61,872 円)及び年間を通じた店頭募金(48,128 円)の計 110,000 円を以下の団体に寄付しました。

認定 NPO 法人 FoE Japan「福島ぽかぽかプロジェクト」 110,000 円

また、9 月と 3 月に東北産品(気仙沼ムラカミ)を販売して復興を支援しました(売上実績 164,000 円)

- ・ 上記3つのキャンペーンでは、来店者が見えやすいように掲示物を工夫しましたが、声掛けをしないとなかなか見てもらえないので、今後はコミュニケーションを大切に、掲示物もさらに工夫する必要があります。

4. 支援プロジェクトの活動報告会を開催しました。

- ・ 「ゆたかで幸福なカンボジア農家コミュニティの支援」報告会

5 月 19 日(日)14:40~16:00 参加者 23 人

講師:米倉雪子さん(昭和女子大学教授、元日本国際ボランティアセンター・カンボジア現地代表)

総会時の講演会として開催したため、会員の皆さんにカンボジアの農業の現状について理解を広めることができました。また、伝統的なピダン織についても多くの参加者が関心をもちました。

5. フェアトレード品への関心を高めるために、わかりやすく表示して常設すると共に、フェアトレード・フェアを 2 回開催しました。また、フェアトレード食品は適正な管理に沿って販売しました。

(販売実績)

・5 月 16 日~31 日 売上 58,685 円 ・12 月 2 日~14 日 売上 58,600 円

今年度は仕入れ担当の天王町店の財政が厳しかったため、フェアトレード品の仕入れも難しさを抱えました。そんな中、他の WE ショップの紹介もあり、新たにアフガニスタンの「シルクロードの愛情フルーツ」(ドライフルーツとナッツ)を扱い好評でした。また、仕入れは従来の品目にこだわらず、売れ筋をみて検討する必要があります。

【フェアトレード品・物産品の取り組み】

- | | |
|------------------|--------------------------------------|
| ① 森育ちのしょうがパウダー | フィリピン (ウバパス・ダイヨコン・ランバダ住民組織 シュントック財団) |
| ② 森育ちのしょうがクッキー | フィリピン (夢21福祉会まどか工房/WE21 ジャパン) |
| ③ コーヒー・チキンカレー | 東ティモール・ラオス・ペルー・フィリピン・岩手県 (珈琲工場&百屋) |
| ④ チョコレート・ドライフルーツ | ペルー・ボリビア・カリフォルニア (ピープルツリー) |
| ⑤ ドライフルーツ・ナッツ | アフガニスタン (アフガンサフラン) |
| ⑥ 紅茶・ジャム | インド、マラウィ (わかちあいプロジェクト) |
| ⑦ オリーブオイル・石けん | パレスチナ (パレスチナ・オリーブ) |
| ⑧ 廃食油リサイクルハンドソープ | 東京 (株)ユーズ |
| ⑨ クラフト品 | ラオス・カンボジア (地球の木) |

6. 広報チームと協力し、民際協力の情報を店内掲示やチラシ配布などを通じてわかりやすく市民に伝え、理解を広げました。
- ・ キャンペーン時には、ミニチラシや店内のパネル展示の作成を支援チームで作成し、お客様が見やすいように工夫しました。
 - ・ WE 講座チラシは、広報チームの協力を得て、わかりやすいものを作ることができました。
7. 情勢に応じて必要な支援を検討しました。
- ・ 今年度は緊急支援は行いませんでした。
 - ・ JIM-NET のチョコ募金数を増やし、販売時期を早めることによって、募金をより多くの人に広めることができました。また新たに始まったコーヒー募金「COFFEE for PEACE」(ドリップコーヒー2 袋入り 550 円)にも取り組みました。

2024 年度助成金の決定(2025 年度実施事業)

(1)ゆたかで幸福な(Sambo Sabay)カンボジア農家コミュニティの支援計画

ーポンロック・バイトーン(緑の芽:Ponlok Baitong:PLB/PBT)有機農園を通してー

活動団体:ポンロック・バイトーン(緑の芽)有機農園

プロジェクト・コーディネーター/PLB 創設者:Yang Saing Koma 博士

実施期間: 2025 年 4 月~2026 年1月

助成金額: 80,000 円

- 決定の根拠: ① これまで指導を受けた農家は堆肥の生産拡大を通じて、作物の収穫量を向上させ、収入を増やしている。継続して支援することによって、農家の能力向上を拡大することができる。
- ② 有機農業、堆肥の使用、協同マーケティング、女性と若者のエンパワメントに重点を置き、農林水産省のコミュニオン担当官との協力を通じて、効果的なサポートを図ろうとしている。
- ③ 農民の技術向上を普及させるために、PJ の実践内容を写真、ビデオ、文書作成を通じて広く情報発信し、対象農家以外にも幅広く情報が行きわたるようにしている。

(2)アフガニスタン緊急:「女性たちの学校」にユナイト!

ー女性教育制限下の「学校」という決意、希望ー

活動団体 : 平和村ユナイテッド

実施期間 : 2025 年 4 月-2026 年 3 月

助成金額 : 80,000 円

- 決定の根拠: ① 女性の権利が次々と制限されるアフガニスタンでは、制限に抗議する人たちへの暴力の報告もあり、生命や経済の危機や不安があり、「緊急事態」は依然、続いている。
- ② 女子の中等教育、高等教育は無期限停止となり、将来的な社会・経済参画の機会を奪われた中でも、学びたい女性は多く、「学校」は女性たちにとって大きな希望となっている。
- ③ 「学校」が存在することは、女性たちにとって、社会にとって大きな希望であり、現状を変革し、権利や多様性の保障を通じて平和をつくる活動ともなっている。

● 2024 年度 支援金・募金の報告

認定 NPO 法人自立生活サポートセンター・もやい ◆10 月貧困なくそうキャンペーン	62,000 円 ・48,833 円 (10/17 売上全額寄付) ・13,167 円 (10 月店頭募金)
福島ぽかぽかプロジェクト (認定 NPO 法人 FoE Japan) ◆福島の子の養育プログラム支援	110,000 円 ・61,872 円 (3/11 売上全額寄付) ・48,128 円 (通年の店頭募金)
核兵器廃絶日本キャンペーン	35,000 円 ・14,885 円 (8/6 売上寄付) ・20,115 円 (8 月店頭募金)
一般社団法人かたわら ◆核廃絶に向けたアドボカシー活動	56,000 円 ・14,886 円 (8/6 売上寄付) ・41,114 円 (8 月店頭募金/WE 講座募金)
特定非営利活動法人 JIM-NET ◆チョコ募金(1 月～2 月)による支援 (日本イラク支援ネットワーク) ◆「COFFEE for PEACE」 2 月～	56,000 円 (チョコ募金) 27,500 円 (コーヒー募金)
保土ケ谷区社会福祉協議会	フードドライブ、物品寄付(マスク 食料品)
NPO 法人きてん トラック	物品寄付(リメイク作業用 T シャツ)
特別養護老人ホーム ラポール三ツ沢	物品寄付(介助用タオル、カット新聞)
フェアトレード品、東北物産品仕入れ販売による 生産者支援	602,641 円(売上げ) 452,259 円(仕入れ費)

●寄付金 300,476 円 募金 206,024 円 合計: 506,500 円

支援先団体の活動について

● 一般社団法人 かたわら

「核兵器のない世界を私の街から」をビジョンに掲げ、①国内外での政策提言 ②核兵器・平和を考えるイベント・ワークショップの開催 ③平和をつくるための国際交流事業 ④イベント コーディネート などの事業を行っています。2024 年度は多分野の NGO と共同して「G7 サミットに日本の市民社会の声を届けるプロジェクト」を立ち上げ、ローマで開催された「C7 サミット 2024」では「平和・共通の安全保障・核兵器廃絶」の提言作成にかかわり、国連「未来サミット」やその後のポスト SDGs の議論では核兵器廃絶や軍縮、平和構築を盛り込むように政策提言を行いました。その他、核兵器・平和を考えるイベント・ワークショップを全国各地で多数開催し、核政策に関わる調査・研究を行い、講演や執筆活動を通して情報発信しています。

● 一般社団法人 核兵器をなくす日本キャンペーン

「核兵器廃絶日本 NGO 連絡会」が母体となり、日本が核兵器禁止条約に加わることを実現するために、核

兵器廃絶を目指す市民及び市民団体が連携して、2024 年から 2030 年まで行う活動です。全ての政党の議員への働きかけ、政府への働きかけを始めとして、核兵器に関する国際会議に参加し他国とのネットワークを作り、核兵器禁止条約に関する広報・イベントを行っています。2024 年にノーベル平和賞を受賞した被団協代表を始め、2017 年に同平和賞を受賞した ICAN の日本代表も理事として参加しています。2025 年 2 月には、被曝 80 周年を記念して、東京で「核兵器をなくす国際市民フォーラム」を 2 日間にわたり開催しました。

● 福島ぽかぽかプロジェクト(認定 NPO 法人 FoE Japan)

福島第一原発事故の翌年 2012 年から始まった保養プロジェクトです。放射能汚染が少ない地域に一時的に親子を受け入れる「保養」に取り組み、猪苗代の「ぽかぽかハウス」を拠点に活動しています。子供たちに思いっきり野外で遊んでもらうこと、お母さん、お父さんが普段語れない不安や疑問点について語り合い、共有する場の提供を目指しています。2024 年度も短期の保養を10回以上実施し、子供達は近隣の散歩やアスレチックの他、夏はカヌーや湖水浴、冬はスキー・スノーボードで思いっきり楽しみ、ハウスでは食事作りや掃除の手伝い等にも参加しました。事故当時生まれた子供たちは中高校生となりボランティアとして参加しています。また、保養だけでなく、放射線やエネルギーについて学ぶ場もつくり、今後につなげています。

● 認定 NPO 法人自立生活サポートセンター・もやい

現場での自立支援に向けた様々な活動が続けながら、見えている状況の発信や政策提言を丁寧に着実に進めています。今年で 5 年目となる食料配布は5月には800人を超え、物価高騰も影響して貧困の状況は深刻です。9月には、2017 年から続いている生活保護制度に関する要望書を、制度利用者の目線に立った内容で作成し提出しています。また、新しい試みとして、もやいの葬送プロジェクト(身寄りのない方のおみおくりのあり方について考える調査)を進めるためのクラウドファンディングも実施しました。また、もやいの活動に関わるボランティア募集の呼びかけも盛んで、ボランティアに参加する方法がわかりやすく掲載されており、若い人たちの参加が期待されます。

● 特定非営利活動法人 JIM-NET

1991 年の湾岸戦争の影響によって、がんや白血病などにかかるイラクの人々が、医療を受けられ、命が助かることを目指すと共に、イラクおよび周辺国の人々が平和で安心できる社会作りに尽力しています。イラク小児がん支援、シリア難民支援、福島の子どもたちを放射能から守る活動の支援、JIM-NET ハウス(小児がん総合支援施設)の運営などを行っています。医療支援を中心とした具体的な事業だけでなく、根本的な問題を解決するために、劣化ウラン弾の禁止、核に頼らない社会づくりや非戦の呼びかけ、イラク戦争の検証を求める活動など、政策提言も行っています。活動を支える最大の収入基盤はチョコ募金です。

【日時】通年

【場所】横浜市保土ヶ谷区

【従事者人数】理事 10 人・ショップスタッフ 7 人 支援チーム 6 人(理事 5 人 スタッフ 1 人)

【受益対象者】市民 支援先の住民

【支出額】 507,300 円

Ⅲ 地域市民の国際的な問題意識の向上を図る事業(共育事業)

1. 国内外を問わず社会で起きている問題や、市民に関心のあるテーマで WE 講座を開催しました。
WE 講座「未来のための平和のつくりかた～核兵器廃絶をめざす世界の動き～」
1 月 26 日(日)10:00-12:00 市民活動センターアワーズ
講師:一般社団法人 かたわら 高橋悠太さん 光岡華子さん 参加者 22 名
・ 支援先の「かたわら」代表及びスタッフを講師として核兵器廃絶をめぐる現状報告や、自分ごととして考えるロールプレイを行いました。多くの参加者が自分事として核兵器廃絶を身近な問題として考え、楽しく意見を出せる場となりました。活動への応援の気持ちがたくさんの募金と販売物完売にも示されました。(当日の募金:21,000 円)
2. ショップに募金箱を設置し、募金先の情報を的確に伝え、寄付文化を広げる取り組みをしました。
JIM-NET ・チョコ募金 56,000 円(12 月～2 月)
・「COFFEE for PEACE」27,500 円(1 月～)
3. 連携する団体の講座や企画に参加しました。
・WE21 いずみ主催「パレスチナ・ガザ地区の現状」地球のステージ
6 月 22 日(土) 中田コミュニティハウス ほどがやから2人参加
・WE21 グループ内合同 一般社団法人かたわら活動報告会
8 月 23 日(金)10 時～12 時 県民センターコラボルーム ほどがやから2人参加
・WE21 さかえ主催「共同の家プア活動報告会」
9 月 16 日(祭)13 時～ さかえ社協 ほどがやから3人参加
・WE21 グループ内合同 JIM-NET 活動報告会
12 月 19 日(木)10 時～ 県民センターコラボルーム ほどがやから2人参加
・WE21 さかえ主催「WE 講座 アフガニスタン・ドライフルーツおいしさのヒミツ」
3 月 8 日(土)13 時～ サカエスタ ほどがやから1人参加
4. 助成団体や寄付団体の報告会や講座を開催しました。
「ゆたかで幸福なカンボジア農家コミュニティ」の報告会、核廃絶を考える WE 講座を開催し、国内外で起きている問題を考える場をつくりました。支援活動の内容を多くの会員の方たちに知っていただき、関心を深めることが出来ましたが、会員だけでなく、地域の方たちにも参加していただけるようにすることが課題です。
5. 「ガザの恒久的停戦と、パレスチナの和平を求める」声明(パレスチナの和平を求めるアクション実行委員会)の賛同団体になりました。(3 月)

【日時】通年

【場所】主に横浜市保土ケ谷区

【従事者人数】理事 10 人 ショップスタッフ 7 人 支援チーム 6 人(理事 5 人 スタッフ 1 人)

【受益対象者】市民 支援先の住民 会員 ボランティア

【支出額】12,392 円

IV WE21 ほどがや事業の広報普及を図る事業(広報事業)

1. WE21 ほどがやの活動を地域市民に広く知らせる「ほどがやニュース」を年2回発行し、魅力的な紙面作りを心がけました。

ほどがやニュース 71号 600部(7月) 72号 500部(2月)

広報チームメンバーが少ないので、チェック機構に課題が残りました。

2. 来店者に活動内容や、情報をわかりやすく伝えるために、効果的な掲示の工夫をしました。

「初めて WE ショップを知った人にとってわかりやすい表現ができているか」について、理事だけの目では気づきにくいので、チャリティショップという特徴を、ショップイベントや活動の開催報告だけではなく、身近に参加できるように、詳しい参加方法の紹介で伝えることが課題です。

廃食油回収、めぐりケータイなど、新規寄付者やお客様にはショップに来ただけでは伝わりにくいことを改めて伝え、活動をつなげていくための情報提供が必要です。

3. セールやイベント、キャンペーンチラシは、広報チームとショップスタッフ、また支援チームと連携し、視認性の高い掲示物の作成に努めました。

寄付品チラシ 1000部 核廃絶キャンペーン(8月)800枚

夏の感謝セール(7月)2000部 ラポール三ツ沢販売チラシ、

秋冬感謝セール(11月)2500枚

4. WE21 ほどがやのホームページや Facebook、Instagram で、速やかで効果的な情報発信に努めました。

来年度は Instagram と Facebook の連携、予約配信、また、アプリ内で写真加工等して外出先から発信できるようにするため、WE21 ジャパンほどがやの広報の SNS 学習会の開催を企画します。同時に、タイムリーに、かつスタッフの負担の少ない方法でショップ情報を発信する手段として、LINE 公式アカウントの活用を目指します。

5. 会員・ボランティア・寄付者へ、タイムリーに活動報告や情報提供を行います。

会員へ、年次報告書と会員へ手紙を送付しました(9月) ニュースの送付(12月)

【日時】通年

【場所】主に横浜市保土ケ谷区 神奈川県

【従事者人数】理事 10人 ショップスタッフ7人 広報担当 3人(理事 2人、スタッフ 1人)

【受益対象者】市民

【支出額】 8,405円

V 事業を実践するための組織活動

1. 持続可能な組織づくりのため、組織の充実と活性化を図り、経営基盤を高めます。

1) 理事会を定例開催し組織運営能力、活動推進力を高めました。

2) 各チーム、部会を定例開催し、情報の共有と組織の活性化に努めました。

リユース・リサイクル部会(5回) 6/19 10/23 12/4 2/8 3/19

リメイクチーム懇親会 (1回) 12/17

支援・平和チーム (9回) 6/12 7/24 8/21 9/18 10/30 12/18 1/15 2/26 3/26

3) 会員拡大

WEの活動への理解と賛同が広まるような呼びかけが徹底できませんでした。

正会員拡大目標:	個人(年間 2,000 円)	56 人(目標60人)
	団体(年間 6,000 円)	0(目標1団体)
賛助会員拡大目標:	個人(年間 1口 500 円)	17 口(目標50口)
	団体(年間 3,000 円)	1 団体

4) 寄付者拡大のため、活動への賛同と寄付の呼びかけを強化する活動ができませんでした。

2. スタッフの雇用を進めます。

1) スタッフの雇用契約をしました。10月から神奈川県の新規定にともない、時給 1,162 円に改定しました。

2) 公正で働きやすい雇用形態を図るため、スタッフ個人面談を実施しました(7月)

3) ショップ運営を円滑に進めるために、ショップスタッフミーティングを毎月開催し、理事会に報告、提案を行いました。

4) スタッフのスキルアップのため、WE21 ジャパンのスタッフ研修に参加しました。

WE21 ジャパンスタッフ研修「スタッフ大集合～学びの場＊つながる場～」に、スタッフ全員が参加しました。その後、コロナ禍以降中断されていた横浜中央南エリアのスタッフ連絡会が再開しました。

スタッフ同士の情報交換と共育がよりよいショップ運営につながることを期待されます。

・ WE21 ジャパンスタッフ研修 1月9日(木)10:00-12:30 県民センターホール (参加者 7名)

・ 横浜中央南スタッフ連絡会 2月26日(水)10:00- 県民センター コラボルーム(参加者 5名)

5) 合同スタッフミーティングの開催はできませんでした。

3. ボランティアの参加拡大、交流に努めます。

1) 新たなボランティアの拡大に努めます。

ボランティア人数 星川店 20名(3名増) 天王町店 14名(増減0)

2) ショップ活動への理解を高めるため、ボランティアミーティングを実施します。

6月に2店舗で実施しました。

星川店 6月1日(土)10:30-12:00 7名参加 天王町店 6月26日(水)10:00-11:30 6名参加

ボランティアポイントカード利用 (福利厚生) 52回

4. WE ショップほ도가やの今後の方向性を議論しました。

WE21 ほ도가やの今後を考える会(ほ도가や未来プロジェクト)の立ち上げました。

ミーティング日程: 10/12, 11/2, 12/21 メンバー:8名

時勢に応じたショップのあり方や方向性をチームで協議し、お互いの意見を引き出せる有意義な場となりました。1月理事会に答申書を提出しました。答申書の内容は次年度方針に反映します。

5. WE21 ジャパン地域NPO, 生活クラブ運動グループ、地域の団体と連携してまちづくりを進めます。

1) 地域に住む多様な人々、福祉施設や作業所、放課後ディサービス、保土ヶ谷区社会福祉協議会、ほ도가や

市民活動センター アワーズ・横浜みなみ生活クラブ生協保土ヶ谷/西コモンズなどと連携し、継続的なつながりと協力イベントの実施などを図りました。

「特別養護老人ホーム ラポール三ツ沢」で、チャリティショップ出張販売を行いました。お買い物をする機会がない入居者さんたちにとって、たくさんの品物を手に取り、選ぶ、買うという普段の生活では味わえない空間がとても新鮮で楽しかったようです。職員さんや近隣の方たちにも喜んでいただきました。

① 9月7日(土) 13:30-16:30 売上:23,455 円(内リメイク品 4,960 円 天王町店:14,380 円)

② 12月14日(土)12:00-15:30 売上 62,125 円(星川 36,725 円(内リメイク 10,260 円)
天王町 25,400 円)

2) チャリティショップとして、ショップの寄付品を提供して地域でのたすけあいに寄与するなど、寄付品がより生かされるよう、すすめました。

・ラポール三ツ沢、NPO 法人きてんトラックへ物品寄付しました。

3) 若い世代、子育てファミリー層にもチャリティショップを利用し、参加してもらえる工夫をしました。

天王町店では毎週土曜日を「こども Day」として、子供の衣類やおもちゃなどを店頭で販売し、定着しました。

4) 認定NPO法人 WE21 ジャパンとは事業の受託、委託に関する基本契約を結び、WE21 ジャパン・グループとして連携した活動をしました。

・2024年度 WE21 ジャパン合意による物流事業費・商標使用料・ネットワーク推進費(年額)

物流事業費合計 862,936 円(税込) 商標使用料 244,464円

ネットワーク推進費 16,255 円 合計 1,123,655 円 (月 93.638 円)/

・WE21 ジャパン WE フェスタにボランティアとして参加しました (11月19日・20日)

・WE21 ジャパン着物・リメイクフェアにボランティアとして参加しました(4名 2月14日・15日)

5)WE ショップを就労体験や職場体験の場として受け入れに貢献しました。

星川店 6名 天王町店 2名

6)ほしかわ商店会に参加しました。

第3回星川まつり(約8,000人來場)に参加し、子供衣類やおもちゃ、トートバックなどを販売しました。

來場者にショップを案内するチラシも渡しました。 6月8日(土)売上 9,105 円

7) ほどがや市民活動センター アワーズの協働運営会議に参加しました。

ホシテンフェア 2025 展示とアピールに参加しました(3/8-29 アワーズミーティングスペース)

ほどがやの活動を展示パネルとリメイク品展示、チラシでアピールし、リメイクのワークショップも行いました。(参加3名)

8) 保土ヶ谷区魅力ある地域まちづくり事業「ほどがや 人・まち・文化振興会」に参加しました。

週に1回、ショップで地場野菜の販売協力(朝市街道・ほどがや産直便)を行いました。

9) 2024 年度イオンスタイル天王町の「幸せの黄色いレシートキャンペーン」に登録しました(2024 年 3 月～2025 年 2 月)

毎月 11 日のレシート投票による売上合計の1%の金額 26,100 円分のギフトカードを贈呈されました

10) 横浜市内在住65歳以上の方対象の割引制度「濱ともカード」を実施しました(1日、21日、10%割引)

【日時】通年

【場所】主に横浜市保土ヶ谷区

【従事者人数】理事 10 人 ショップスタッフ7人

【受益対象者】市民 会員 ボランティア

【支出額】 436,048 円

以上